

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 石川県 能美市立根上中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒929-0124

石川県能美市浜町ワ60

E-mail : neagari-jhs@school.city.nomi.ishikawa.jp

Website : www.school.city.nomi.ishikawa.jp/~najwww/

児童生徒数：男子 262名 女子 230名 合計 492名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

(記入例)

当校は、「ふるさとについて考え、自発的、実践的な活動を通して、学友や保護者、地域の方々と協力し、ふるさとの自然や文化を大切に、生徒個々の実践力を高める」を目的として活動してきた。また、国際交流活動を通して国際理解の視野を広げる活動も展開してきた。

具体的には、総合的な学習の時間を中心に、地域の松林を守る活動、韓国の姉妹校との交流活動を通して環境保全学習、交際理解学習を行なった。

① 環境保全に係わる活動

- ・ 1年次、地域探訪学習をしたり、能美の松原サポートクラブの方による環境保全に関する講話を聴いたりして地域の環境の現状と保全のあり方を学ぶ。(5・6月)
- ・ 2, 3年次、能美の松原サポートクラブや森林連合会等からのアドバイスを受けながら、下草刈りや松葉かきといった保全活動に取り組む。(7・10月)

- ・校内ボランティア活動参加生徒により、保全活動で集めた松葉を堆肥として利用し、農作物を栽培・収穫する活動に取り組んでいる。また、収穫した松々レタスや松々サツマイモを活用した給食及び保護者対象の給食試食会を実施している。(5月・10月)
- ・NEXCO中日本の「高速道路美化促進事業助成」を受け、毎年夏休みに、海岸の松林に面している高速道路防音壁に美術部員が数週間かけて壁画を描いている。(ふるさとにゆかりのあるものをモチーフとしながら必ず松林を入れて描いており、H29年で7作品目)

② 国際理解に係わる活動

- ・毎年韓国の姉妹校との交流活動を行なっている。(隔年で訪韓と訪日を交互実施…H29は訪韓)



①写真 (キャプション)



①の写真 (キャプション)



①の写真 (キャプション)



①の写真 (キャプション)



②の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 ボランティア活動)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

なし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクール加盟は当時の校長の考えで実施したが、校長が替わり、ユネスコスクール加盟校であることを重要視した取組や表記等はない。ただ、その理念に合致するような取組は数多くあり、本校がユネスコスクールであることを前面に打ち出している活動とはしていない状況である。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

活動計画は総合的な学習の年間計画に位置づけ、継続的に実施している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコスクール加盟は当時の校長の考えで実施したが、校長が替わり、ユネスコスクール加盟校であることを重要視した取組や表記等はない。ただ、その理念に合致するような取組は数多くあり、本校がユネスコスクールであることを前面に打ち出している活動とはしていない状況である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

特に意識して発信しているという自覚が無く、効果については分からない。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域の環境保全団体やNEXCO中日本とは担当者が連絡とりながら活動を実施している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

なし。

- ⑧ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

②にも回答したが、ユネスコス쿨として取り組んでいるから、というよりは、結果的にその理念に合致した学習や活動に学校として取り組むことで、地域に貢献できたり、地域からも評価されたりしていると感じている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

3 活動内容と同様